

大 学 史 研 究 通 信

第 66 号、2011 年 4 月 30 日 (土)

大学史研究会

第 66 号の内容： 会員ニュース・新入会員自己紹介・東日本大震災の発生にあたって・研究会参加記・2011 年度会費納入のお願い・会員新刊ニュース・『大学史研究』編集委員会からのお知らせ・事務局からのお知らせ・退会者の報告・訃報 馬越徹元会員 逝去・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

会員ニュース

異動のあった会員

有本 章 会員 (所属変更)
新所属・くらしき作陽大学 学長・理事

沖塩 有希子 会員 (所属変更)
新所属・千葉商科大学

五島 敦子 会員 (所属変更・住所変更)
新所属・南山大学短期大学部

陳 昊 会員 (所属変更)
新所属・九州大学大学院人間環境学研究院 学術協力研究員

津田 徹 会員 (所属変更)
新所属・神戸芸術工科大学

藤村 正司 会員 (所属変更)
新所属・広島大学高等教育研究開発センター

安原 義仁 会員 (所属変更)
新所属・放送大学広島学習センター 特任教授・所長

新入会員自己紹介

松本 智治 会員

日本大学大学院総合社会情報研究科博士前期課程に所属しております松本智治(まつもとともはる)と申します。目下の研究テーマは 20 世紀米国の政治思想家ハンナ・アーレントの思想・哲学を研究しておりますが、同時にその背景としての 20 世紀の米国高等教育史に関心を持っています。以前は、東京大学文学部(西洋史学専修)で、主と

して鈴木利章先生の研究成果を参照しつつ、13～15世紀の英国大学（オックスブリッジ）と社会動態（学部専攻・学位取得と聖俗両界での立身出世動向）を、プロソポグラフィの手法を利用して解明する研究を中心に、広く西洋中世史の研究をしておりました。その他、明治期～戦前の帝国大学、旧制高等学校と国民国家日本の成立の関係など、広く高等教育史に関心を広げています。福岡県北九州市出身、東京都在住、空いた時間を利用してのちょっとした日帰り鉄道旅行が趣味です。どうぞよろしく願いいたします。
（日本大学大学院総合社会情報研究科博士前期課程）

東日本大震災の発生にあたって

この度の東日本大震災で被害に遭われた方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

一昨年、本会では第32回セミナーを東北大学で開催させていただきました。東北大学では、セミナー会場であった大学史料館はじめ、多くの建物に被害が出ているとお聞きしております。一日も早い復旧を祈念致します。

また、今秋の第34回セミナーの開催を岩手大学にお願いしておりました。セミナー開催につきまして、岩手大学の大川会員から、予定通り開催可能であるとのご連絡をいただきました。岩手大学のある盛岡市は比較的被害が少なかったとはいえ、大変な状況の中にあることには変わりありません。しかし、セミナー開催を通じて微力ながら復興の一助になればと考え、大川会員と岩手大学関係者の御厚意に感謝し、ご無理をお願いすることになりました。会員の皆様からは、今後とも、震災に関わる情報提供、ならびに本会に対するご要望・ご提案をお寄せいただければ幸いです。

大川会員から以下のお便りをいただき、事務局一同、勇気づけられる思いが致しました。セミナーの成功に向けて事務局一丸となって取り組みたいと思います。会員の皆様からのご支援、そして何よりも多くの方々のセミナーへのご参加をよろしく願い申し上げます。

なお、セミナーは10月または11月の週末に開催する予定です。日程が決まり次第、ホームページおよび通信でお知らせ致しますのでご確認下さい。

大学史研究会事務局一同

がんばってます岩手。やりますよ研究セミナー！

岩手大学 大川 一毅

このたびの震災に関し、会員各位から多くのお気づかいをたまわり、心より御礼申し上げます。



盛岡市は岩手県内陸部にあるために、震災被害も少なくすみしました。都市はおおよそ通常に機能し、沿岸地域支援拠点の役割を果たしています。

岩手大学も、地震による外的損傷はほとんどありませんでした。現在、地域復興の取り組みに、教職員、学生が一丸となって参加しています。これに当たり、教育研究活動による支援も重要な役割です。学術文化活動を維持していくことも

大切な任務です。

つきましては、本年度の大学史研究会研究セミナーの会場提供を予定通りお引き受けいたします。

むしろ多くの皆様に岩手や盛岡に来ていただき、ホテルに泊まって、タクシーやバスに乗り、懇親会もやって、当地のお食事やお酒を楽しんでくださり、お土産もたくさん買って、地域復興へのご助力を願う次第です。（学術の発展も・・・ですよ。もちろん！）

今回の震災で、岩手県の経済活動全体が大きな打撃を受けています。被災地域の復興を長丁場で持続的に支えるのが県都盛岡。しかし、自粛ムードが進み、観光業や飲食業、地元商店やデパートはギリギリのところまで頑張っているのが現状です。

本年度のセミナー開催にあたり、例年にもまして多くの会員各位において願えればと存じます。

皆様の笑顔と元気を岩手に運んできて下さい。よろしければ、近隣の小岩井農場や八幡平、あるいは数々の名湯にもお立ち寄り下さい。絶好の紅葉シーズンでもあります。

花巻空港は正常に機能しております。広島便や福岡便を受け入れる仙台空港も、日ごとに復旧が進み、秋にはほぼ正常化していると予想されます。

東北新幹線も全線復旧して「はやぶさ」号もびゅんびゅんと走っているはずですよ。

「原発放射能」の影響も心配ご無用。福島原発は、盛岡より東京の方が実は距離的に近いのです。

東京が大丈夫ならば、盛岡はもっと大丈夫ですよ。

「雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ」の宮澤賢治。彼の母校である盛岡高等農林学校を前身校の一つとして、その伝統を受け継ぐ岩手大学。

がんばっています、岩手。やりますからね、研究セミナー。

皆様、ぜひともおでつてくなんせ！ 御来盛を心からお待ちしております。

南部盛岡は江戸より百四十里。奥州街道のはてゆえ、西国のごとき実りはあり申さぬ。

おぬしらが豊かな西国の子らに伍して身をば立て、国は保つのは並大抵のことではねえぞ。

盛岡の桜は石ば割って咲ぐ。盛岡の辛夷（こぶし）は、北さ向いても咲ぐのす。んだば、おぬしらもぬぐぬぐど春ば来るのを待つではねぞ。

南部の武士ならば、みっごど石ば割って咲げ。

春に先駆け、世にも人にも先駆けてあつばれな花っこば、咲がせてみる。

浅田 次郎『壬生義士伝』（文春文庫：下巻）より

研究会参加記：「学問と大学の起源—再考の試み—」

安原義仁会員（2010年度末をもって広島大学を定年退職され、現在、放送大学広島学習センター所長・特任教授）とロイ・ロウ教授（ロンドン大学教育大学院名誉教授）が共同で取り組まれている研究「学問と高等教育の起源—文化圏の拡がりの中で」の一環として、上記研究会が4月15日、放送大学広島学習センターにて開催されました。

この共同研究は、大学の起源を中世ヨーロッパに求める西欧中心史観を再検証しようという壮大な構想に基づくものです。古代ギリシャの思想と学問が中世ルネサンスの基盤を形成したことはよく知られていますが、本研究では、ギリシャ文化をアラブ・イスラム世界が継承したこと、また、中世以前からヨーロッパ以外のアラビア、アジア世界で学問と科学の胎動がみられ、大学の先駆的形態が存在していたことに着目しています。中世ヨーロッパの大学がそれ以前の文明移転プロセスの結果として成立したという視点は、これまで若干の指摘はなされても、ヨーロッパ中心史観の中で十分に検討されて来なかった点であり、こうした大きな課題に取り組むことに本研究の意義があると思います。講演の中では、文化移転の手段としての翻訳活動の意義、知の拠点形成と普及における図書館の重要性などについても指摘がなされました。

講演後の議論の中では、日本でも中世以来、実質的な学問伝承を担っていた教育機関が存在しており、明治政府による設立を起源とする大学史像について再評価が必要なのではないかといった刺激的な視点も提起されました。

共同研究の今後の展開を楽しみにしたいと思います。

（広島大学 福留東土）

2011年度会費納入のお願い

今年度の年会費納入についてお願いのご連絡を申し上げます。

大学史研究会の実収入は会員各位からの年会費に大きくよっております。

昨年度、全会員数に対する年会費納入率は58.8%であり、未納も少なくありません。

そのために、毎年1~2月頃に未納会員宛に納入依頼通知を再送することになりましたが、これを開始して6年目にあたる現在におきましては、残念ながらその効果はさほど上がっていない状況にあります。

前回の通信に掲載しました会計報告のとおり、本研究会の財政状態は決して芳しいとはいえません。

研究会の発展と円滑な運営のために、会員各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。

年会費の納入の詳細につきましては、同封の年会費納入依頼通知をご覧ください。

年会費は5,000円です。大学院等在学あるいは日本学術振興会特別研究員の各位には、「院生・学生会費」として3,000円が適用されます。

また、過年度分年会費未納の会員には、未納年度と本年度会費分を含めた金額総計を通知いたしております。

なお、年会費3ヶ年度分以上を滞納されている会員には、研究会継続参加のご意志を、年会費納入によって確認できるまで、大学史研究会からの諸連絡、「研究通信」、紀要「大学史研究」等の発送を停止することが決定しております。該当する会員へのご連絡通知には、これに関する事項が記載されておりますので、ご留意願います。

なお、本通知依頼発送と入れ違いに年会費を納入いただきました場合には、何卒ご容

赦のほどお願い申し上げます。

年会費納入払込先 — 郵便振替口座：大学史研究会 口座番号 00120-3-47583
または
銀行口座：大学史研究会 三井住友銀行 池袋東口支店(店番 671)
普通預金（口座番号 3456109）

（事務局会計担当 沖塩有希子）

会員新刊ニュース

杉谷祐美子 編 『大学の学び 教育内容と方法』（リーディングス日本の高等教育
第2巻）玉川大学出版部（2011/2）

寺崎昌男 平原春好 編 『新版 教育小辞典 第3版』学陽書房（2011/4）

『大学史研究』編集委員会からのお知らせ

『大学史研究』編集委員会では、第25号に向けた特集企画の検討、および投稿原稿の査読手続きを行っております。次回編集委員会は5月に開催されます。『大学史研究』への投稿手続きについては、24号等の巻末に記載されているとおりです。ご不明な点がありましたら、事務局紀要担当の岡田まで (daishi@home.nifty.jp) ご連絡ください。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

事務局からのお知らせ

「会員新刊ニュース」情報提供のお願い

本通信では、会員の研究活動の紹介を心がけております。新刊を発行されたご本人、あるいは会員が新刊を発行されたという情報を得られた方は、事務局（代表Eメールアドレス：jshshe@wwsoc.nii.ac.jp）もしくは本通信編集担当の井上までご一報いただければ幸いです。

原稿募集

『大学史研究通信』第 67 号は 2011 年 8 月 31 日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿提出・お問い合わせ等は、事務局（代表Eメールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）、もしくは本通信編集担当の井上までお願いいたします。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は事務局までご一報くださるようお願いいたします。また、教授・研究のために海外にご滞在予定の方も、海外でのご連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は事務局代表Eメールアドレス（jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）までお願いいたします。なお、変更届にあたっては、年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第 14 号～現在発行号までを希望者に頒布いたします。事務局代表Eメールアドレス（jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）までご連絡ください。折り返し、請求方法をご連絡いたします。

退会者の報告

以下の会員の方が退会されました。長い間本会の活動にご協力賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

退会者：木村靖二 会員

訃報

馬越 徹 元会員 ご逝去

本会の元会員である馬越徹氏（名古屋大学・桜美林大学名誉教授）が平成 23 年 4 月 7 日、逝去されました。享年 69 歳でした。氏は、韓国大学研究の第一人者として知られ、代表的著作である『韓国近代大学の成立と展開—大学モデルの伝播研究』（名古屋大学出版会、1995 年）は『大学史研究』第 11 号において斎藤泰雄氏による書評が取り上げられました。また、『大学史研究』に「韓国における大学教員の養成と任用」（第 1 号、1979 年）を寄稿されるなど、本会で長く活動されました。

御冥福を心よりお祈り致します。

大学史研究会事務局

<お知らせ>

広島大学高等教育研究開発センターでは、馬越先生が当センター在職時（1974年～1986年）に収集された韓国大学史に関する貴重な蔵書を保管しています。蔵書リストを作成していますので、リストをご覧になりたい方は、福留またはセンター情報調査室までご連絡下さい。

（広島大学 福留東土）

編集後記

東日本大震災で被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。
会員の方々の中にも、実際に被害に遭われた方、あるいはご家族やご友人が渦中にある方がいらっしゃるかと存じます。心よりお見舞い申し上げ、一刻も早く事態が改善されることをお祈り申し上げます。

どうぞ被災された方が一刻も早くお元気になられますように、お祈り申し上げます。

（井上 美香子 記）

『大学史研究通信』第66号の編集は事務局・井上美香子が担当いたしました。

連絡先 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大学文書館 百年史編集室
TEL: 092-642-7189 FAX: 092-642-3956
E-mail: mikako-inoue@luck.ocn.ne.jp

『大学史研究通信』第67号は、2011年8月31日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒739 - 8512 広島県東広島市鏡山 1-2-2
広島大学 高等教育研究開発センター 福留 東土研究室 大学史研究会
TEL&FAX : 082-424-6231
E-mail: fukudome@hiroshima-u.ac.jp
URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jshshe/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願いいたします。

E-mail: jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp

大学史研究会事務局員（五十音順）

浅沼 薫奈（大東文化大学）	井上 美香子（九州大学大学文書館百年史編集室）
岡田 大士（中央大学）	沖塩 有希子（千葉商科大学）
五島 敦子（南山大学短期大学部）	福留 東土（広島大学）